

造影 CT 検査説明書

◆CT 検査とは

- ・身体にエックス線を照射し、身体の内부를画像化する検査です。
- ・寝台に仰向けに寝ていただき、そのまま大きな円筒状の穴の中に移動して撮影を行います。
- ・検査にかかる時間は、撮影部位によっても異なりますが 20～30 分程度です。
（心臓 CT は、30～40 分程度）
- ・検査中に、痛みはありません。
- ・検査中は、体を大きく動かすことはできません。
- ・この検査では造影剤を使用します。造影剤を注入した際に熱感がありますが、副作用ではありません。
※造影剤：血流状態を知ること、病変の有無、形態、性状の判断に役立ちます。

◆検査当日のお食事やお薬について

- ・午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食を取らないようにしてください。
- ・水分（水・お茶）は取っていただいてもかまいません。
※腹部（胆のう）を撮影する場合は、牛乳などの乳製品の摂取はおやめください。
- ・検査後の食事や飲み物の制限はありません。

<注：心臓 CT を受ける方>

前日夜より、カフェイン入りの飲み物（コーヒー・紅茶・緑茶等）は取らないようにしてください。

- ・常用薬はいつもどおりに服用していただいてもかまいません。

※ただし、糖尿病の方は、当日のお食事・お薬については主治医にご相談ください。

（ビグアナイド系のお薬を服用中の方は、検査前後の休薬が必要となることがあります）

◆検査室に入る前の準備と注意点

- ・金属類や小物類は、体から外して更衣室にしまってください。
※ヘアピン、アクセサリー、時計などの外し忘れにご注意ください。

◆造影剤について

ヨード造影剤は、排泄の際に腎臓に負担をかけてしまうため、検査を行うためには腎機能がある程度保たれている必要があります（基準を超える腎機能低下がある場合は造影剤を使用できません）。軽度の腎機能低下がみられる際には、腎臓への負担を軽減させるために、検査の前後で点滴をさせていただきます。

- ・この検査で使用するヨード造影剤は安全な薬剤ですが、次のような副作用を生じることがあります。
軽い副作用：吐き気、嘔吐、動悸、かゆみ、発疹など（5%以下の割合）
⇒ほとんどの場合、経過観察で症状は消失します。
重い副作用：血圧低下、呼吸困難、意識障害など（0.1%以下の割合）
⇒処置が必要となることがあります。
- ・症状によって注射や点滴、気管内挿入などの処置を行う場合があり、後遺症を残すことがあります。
病状・体質によっては、0.0001%以下の割合で死亡例が報告されています。
- ・造影剤の注射中、血管の外に薬が大量にもれた場合、皮膚を切開するなどの処置が必要になることがあります。また、非常にまれですが、注射部位や周辺の痛み・しびれが起こることがあります。
- ・ヨード過敏、ヨード造影剤副作用の既往、気管支喘息の方は、重い副作用が発生する確率が高く、造影剤を使用できません。また、褐色細胞腫、マクログロブリン血症、テタニー、重篤な甲状腺疾患、腎機能低下、重篤な心疾患などを認める方は造影検査が出来ない場合があります。

予約日時 月 日（ ） :

※ご予約時間の 20 分前までにご来院ください。

★世田谷人工関節・脊椎クリニック 画像診断センター★



TEL: 03-5931-8705 (受付時間 9:00~17:00)

URL: www.setagaya-joint.clinic